

(栗野)

みなさんこんにちは。川崎市役所の栗野といたします。
本日はこちら、大沢工業株式会社さんの方に、工場見学にやってきました。
とても大きな工場で、中がどうなっているのか、とってもわくわくします。
さっそく工場の中をみさせていたいただくので、いってみましょう。

こんにちは。

(大沢さん)

こんにちは。

(栗野)

今日こちらの工場見学をご担当していただき、大沢匡樹さんです。
どうぞよろしくお願いします。

(大沢さん)

お願いします。

(栗野)

大沢さん、先程ですね、入り口の方から工場の中をちょっと見させていただいたんですけれどもすごい大きな工場で、
鉄骨がたくさん置いてあって、どんなことをしているんだろうなあって思ったんですけれど、
こちらはこういったことをやられているんですか。

(大沢さん)

まず、会社の方で図面の作図を行いまして、そのあとに材料の発注、材料の組み立てを行いまして、溶接を行ったあとに、検査の方を行いまして、
検査を行ったあとに塗装をして、現場へ出荷、という流れになります。

(栗野)

なるほど。先程置いてあった鉄骨をくっつけて出荷するということですね。
鉄骨をくっつけるのにも色んな作業があってすごいなって思うんですけれど、出来上がった鉄骨はどういったところに出荷されるんですか。

(大沢さん)

主には、学校の建物の中や、あとはマンションの階段とか、現場へお届けしております。なるほど。学校にも使われている鉄骨を作っているということなんですね。すごいですね。そしたらですね、早速工場の中を見学させていただきたいんですがよろしいでしょうか。

(大沢さん)

じゃあこちらから。

(栗野)

はい。よろしく申し上げます。

(補足説明)

どんな仕事をしているの。

家や学校を建てる時に使う、鉄骨（てっこつ）を加工する仕事をしています。

鉄骨（てっこつ）はどのように使われるの。

主に家などの建物を建てる時に使われます。

鉄骨は主に建物の柱として使われます。柱を中心に建物は造られることから、より精密な加工をすることが必要になります。

豆知識。

鉄骨の組み上げ方の一つにラーメン構造というものがあります。

拉麺ではなく、「額縁」を意味するドイツ語が語源になっています。

(大沢さん)

こちらがCAD室になります。こちらで図面の作図を行いまして、主に作図をした後に、工場の方に図面を持って行って、製作をするという流れになります。

(栗野)

なるほど。そしたら中をご案内していただいてもよろしいですか。

(大沢さん)

はい。ではこちらから。

3DのCADを使ってこちらで作図をしております。

こちらの機械はロボット溶接と言いまして、こちらで、人間の手で溶接する倍のスピードで作業の方を行うことができ、とても効率が良くできております。

先程、ロボットで溶接したものを、大組みして、1本の柱になる大組みの工程になりまして、その後、溶接をやります。

溶接されたものは、こちらで超音波の検査をしております。

超音波の検査についてですが、外部の検査は、外観検査というもので、外の検査はできるんですが、溶接の中身というものは、人間の目では見えないものですので、超音波探傷器を使いまして、超音波の検査を行って、中に傷があるかないかの確認を行っております。

先程、溶接が終わりまして検査も終わったものは、こちらで塗装をすることになりますが、塗装に関しまして、塗料も鉛を使っていないクロムフリーの環境に特化した塗料を使っております。

(栗野)

こちらの工場では、環境に配慮した取組もしっかりやられているとお伺いしたんですけれども、どのような取組をされているんですか。

(大沢さん)

弊社ではゼロ・エミッション工業団地の中でこういったお仕事をさせていただいているということで、まず、ISO(14001)を取得しております。

(補足説明)

ISO14001は、大沢工業さんのように、環境に優しい取り組みをしている会社などが取得することができます。

ISO14001を取得すると、「環境に優しい会社」として世界的に評価されるようになります。

(大沢さん)

環境に配慮した取組を我が社全員で取り組むという目的を持ってお仕事をさせていただいているんですが、

うちの会社でしたら、鉄くずというものが産業廃棄物(ゴミ)として発生しますので、それを減らすことで、環境もよくなるということですね。

(栗野)

なるほど。素晴らしい取組をしっかりと大沢工業さんはされているということで本当にすごいですね。

今日は本当にありがとうございました。

(大沢さん)

ありがとうございました。